

山 ゆ り

1・2月号 No377 2018年1月1日

初号発行: 1972年12月25日

山ゆりの会

年会費1000円 (郵便口座00230-2-42601)

〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西2-25-16 草野正昭

Tel/Fax: 045-364-6515 メール: VZM03024@nifty.com

URL: <http://yamayuri.d.dooo.jp/>



■11月19日：長津田-奈良尾根緑地

参加者：稲本 小野寺 加藤 香取 菅野 遠藤
稲田 若月 曾根 豊田 長谷川 浜田 西村 細
谷 松田 草野 草野(17名)

●長津田からこどもの国線沿線、横浜市青葉区と町田市との境界付近にそって小田急線玉川学園まで約 10km を歩いた。登山コースだと地図など見なくてもほとんど迷うことなく歩くことが出来るが、里山や市街地ではそうはいかない。事前に国土地理院の「2万5千分の1地形図」上にルートを決め、道を見つながらほぼそれに沿って歩く。これが存外難しい。道が沢山あり過ぎるのだ。あるはずの道が宅地開発で消えてしまったりして、現地の状況で道を変えることもあるが、変えてはならない、絶対にその道に入らないと目的地に出られない、そういう箇所も何か所かある。だから地図は手放せない。送電線、学校、水田、その他頼りになる人工物が

多いのでコンパスは常識的に持ち歩くが、市街地ではあまり使わなくても大丈夫。

今回のコース、谷戸に水田が残り、その谷戸から森を抜け、尾根の緑道を歩く前半は予想通りいいコースだった。コース後半は予想以上に宅地開発が進み、昼食を住宅街の公園でとったが、場所探しには気を遣う。

多摩学園駅 2~3 時頃の予定が 1 時間以上早く到着してしまった。たぶん先頭でルートを定めながら歩くと、かえって早くなってしまうのだろう。参加者には少し歩き足りなかったのかもしれない。(M. K)

●2017 年度の一言に”今年はずっと一回の参加を目指します”と書きましたが今年もあと二回のウォーキングしか無い！と11月の多摩丘陵ウォーク参加で何とか目標達成することが出来ました。

長津田駅下車は初めてで、集合場所は？に始まり 出発してすぐに”まだまっすぐ”と後ろから声がかかったり、途中で道が無くなっていたりとオリエンテーリングのようなウォーキングでしたが、暑からず寒からず予報より風も穏やかで、気持ちの良い半日を過ごすことができました。有難うございました。

(若月蓉子)



11/19：長津田-奈良尾根ウォーキング

●今回は長津田駅集合。数えるほどしか乗ったことの無い田園都市線。緊張する一。そして参加者17名というのも、私の知る最高かもしれない。知らない方が多いが、古来からの会員の方々とか。

街歩きの良さは、並んでおしゃべりが出来ること。盛り上がって話していても、相手が代わると話題もコロリと変わってそれはそれ。つまり、脚の運動と口の運動と言うところ？例によってコースも何もまったく覚えていない私だが、秋晴れのもと、何とも心地よい1日だった。（小野寺美智子）

●長津田駅集合。お天気がよかったせいでしょうか17名集まりました。恩田川を渡り坂の上の住宅前におば様がいました。丹沢の山々が見渡せるお住まいです。景色の良さを誉めると「50年近く住んでいます、どちらに降りても坂道が大変で、買い物帰り調子の悪い時は2度程途中で休みますよ」と。訪れる方は一度だけれど、お年を召してからの毎日の生活上の坂道、大変ですよ！

谷戸の稲刈り後の道を進み、遠くから見たらエッ鹿がいる…いいえ飼われている栗色の山羊。とても人なつこい可愛い山羊でした。ナラの木々から落ちたどんぐりを敷き詰めた尾根道歩きに入りました。木肌がゴジラのようなゴツゴツとした大きなナラの木がありました。この辺りの地名奈良、奈良町はこのナラの木々がたくさ手に解釈しながら両側は宅地化されこの尾根道だけ残された木々の道を進みました。

尾根道も終わり、昼食は住宅地の中の公園で。残りの道は玉川学園前駅を目指し歩きます。

「ことり橋」可愛い名前のバス停を過ぎ宅地の道を進んで行くと、両側は木々で少し薄暗い道です。古びたサイロ、今は使

われていない牛舎が道沿いにあり、いつの間にか玉川学園の敷地に入り込んだようです。暫く進むと綺麗な建物ばかりのキャンパス内へ。教会、学食、研究所等々。キョロキョロしながら歩いていたら、電車が見えてその先には玉川学園前駅のホームがあり、本日のウォーキング終了です。歩行時間少ない感じはしましたが、日常では見れない風景に出合い、程好い疲れで満足の1日でした。（稲本なお子）

■10月14日：大山古道

参加者：稲本 小野寺 大野 曾根 細谷 西村 草野 松田（8名）

●「大山詣り」が遠く江戸の頃から庶民に親しまれていたことは、古典落語の「大山詣り」からも判ります。資料に依ると、大山街道は各地から約30のルートがあり、青山コースは、江戸から大山山頂まで、沼津方面に繋がる矢倉沢往還と伊勢原までは殆ど同じ道で、大名や武士の往来に利用された東海道とは趣を異にしていた。

大山は、雨乞いの神様の山として有名ですが、前日からの雨も（自他ともに雨女と認める参加者がいても）出発前に止みました。

今回は、全長約80KMの内の約12KM、田園都市線鷺沼駅から長津田駅まで駅の数8つを5時間半で歩きました。鉄道の伸延、道



路開通、宅地開発等が著しいこの地区では、旧街道は昔の姿を殆ど残していませんでした。各種工事の都合により随所で寸断され、道幅も拡がり、マンション群に囲まれ、当時を忍ばせる石塔、祠、道標等も本来在った場所から移動させられていた。それでも、所々に大切に残されている江戸や明治に出会えると、いろいろな想像が浮かびましたが、すぐ横をスピードで走り抜ける車の往来で、現実に戻されてしまいます。（松田 雄二）

●田園都市線・鷺沼駅から長津田駅まで歩きました。港北ニュータウンとして開発され舗装道路のコースです。所々に「大山古道」の道標が残されていたり、新しい「大山古道」の看板もあり、昔は「大山詣」の道であったことが偲べれます。

コースは平坦ではなく、「うとう坂」「血流れ坂」「猿田坂」「つつじが丘」「青葉台」「藤が丘」などなどの名称通り登り下りが続く道で、少しずつ疲れが凝る感じがです。途中真福寺、老馬鍛冶不動尊、市ヶ尾竹下地藏堂などの名刹があり、特に荏田宿（江田）

（江戸から七里 27 km）の看板には興味がかかれました。松田さんの説明資料があり楽しい一日でした。（西村文夫）

■紅葉の尾瀬 10/6-7

●4年振りの尾瀬、14人で横浜6時半出発。那須～塩原～桧枝岐～御池と車窓の景色を楽しみ12時到着。昼食後、雨天覚悟で歩き出すが程なく晴れた青空に山並みが映えて、日頃の行いの良さで喜ぶ。紅葉も見頃で歓声があがる。三条の滝へは下らず、歩く機会がなかった温泉小屋までの～新道コースの山道へ。岩の様に大きな根回りの巨木、横倒しの幹より立つ大木、赤みを帯びた幹の巨木、紅葉、黄葉と尾瀬の魅力一杯。小さな流れを幾つも越えて、立派な吊り橋も渡り、上がり下がり

しながら山道を廻り込み、充分歩いた思いで温泉小屋前に4時15分前到着。一息ついて整備された木道を辿り、第二長蔵小屋に到着、程なく大雨。偶然来ていた平野紀子さんと夕食を一緒にする。幸運にも早朝に雨上がる。

7時出発、東電小屋～牛首をへて山の鼻へ。尾瀬の池塘が大きくて、数も増えた？ようだ。山肌の紅葉、足元のリンドウ、広々とした草原、虹まで出て尾瀬ヶ原の魅力満喫。11時鳩待峠到着。とたんの一雨、昼食後12時駐車場へ。横浜3時過ぎ到着。

今回思いがけず苦しい思いをせずに歩いて、当日迄の取り越し苦労が嘘の様です。山好きになったきっかけの尾瀬の魅力、コース選択の良さですね。（長谷川芳江）

●天気予報では雨模様でしたが、二日間雨に降られず素晴らしい「紅葉の尾瀬」でした。一日目朝6時半に横浜を出発し尾瀬御池に11時過ぎに到着しました。昼食後に足場の良くない上り下りの多い裏燧林道を通り、草紅葉の絨毯や大木などをめでながら第二長蔵小屋につきました。

夕食後一寸気分が悪くなり皆さんに心配とご迷惑をかけてしまいました。夜は雨がひどく降るも朝5時頃には上がりました。

二日目は朝7時に出発。雨で滑りやすくなった木道を慎重に、東電小屋ルートで山の鼻を目指す。尾瀬ヶ原の池塘と草紅葉はとても素晴らしかった。山の鼻を過ぎると紅や黄の紅葉が真っ盛りでした。

鳩待峠には11時に到着、バスは12時過ぎに出発、沼田から関越道を走り、3時過ぎに横浜駅西口に無事到着。二日間ずっと下を向いて歩いたので首が痛くなりました。

尾瀬の木道、傷んだところを東京電力が整備していた。これには大いに感謝したい気持ちです。今回無事に参加出来たこと、ありがとうございました。（西村文夫）

■ 1月14日(日)：真鶴半島ウォーキング ㊟

新年初山行は少し暖かそうな真鶴半島ウォーキングです。黒松の大木にも期待。

- ・ 集合：朝9時30分 JR真鶴駅
- ・ 持ち物：お弁当、雨具、ほか

■ 2月18日(日)：仙元山から田浦梅林へ ★

- ・ 集合：朝8時30分 JR横須賀線 逗子駅
- ・ コース：逗子駅—(バス)風早橋—仙元山—葉山アルプス—田浦梅園—京急田浦駅(解散)
- ・ 持ち物：お弁当、雨具、ほか

■ 例会の予定 県民活動サポートセンター 9F 夕方5時から

- ・ 1月23日(火)：1月例会
- ・ 2月20日(火)：2月例会

2018年度 総会・新年会のご案内

■ 日時：2018 お年1月27日(土曜日)

会場：横浜中華街「東園」横浜中華街 関帝廟通り

TEL045-681-5513 URL ; <http://www.tou-en.jp/>

■ 総会：午後1時—1時30分(予定)

■ 新年会・懇親会：午後1時30分—3時半(予定)

地下鉄みなとみらい線終点・元町中華街駅下車(後方中華街出口)

または JR石川町駅下車 徒歩約10分、

- * 年間計画の話などしながらの新年会です。ふるって参加ください。
- * 出欠のハガキは、1/7までに必ず投函してください。1/8以降は10円切手が必要です。
- * 新年会費：一人3000円(+アルファ会からの補助あり)
- * 年会費1000円もご用意ください。

あとがき

・ 森友学園、加計学園問題は疑惑がますます深まったまま一年が過ぎた。選挙後やっと開かれた国会、自公与党は野党の質問時間を大幅に減らす愚挙にでた。会計検査院報告により、森友学園への土地売却の不透明な経過が明らかになった。国と森友学園の交渉の録音テープの存在も明らかになり、国が値引きを持ちかけていた疑惑も深まった。この裏に総理大臣夫人の関与の疑問がますます深まった。安倍退陣まで「もりかけ」は忘れない。

・ リニア新幹線工事にまつわる入札で不正か、東京地検が捜査開始、大林、鹿島、大成、

清水の大手ゼネコンの談合の疑いが濃くなった。もともとJR東海単独事業を、安倍首相が国家的プロジェクトと位置づけ、国が3兆円を超低利で貸し付け、総額10兆円ともいわれる、巨大公共事業となっている。こんな美味しい話を国会議員が黙って見ていないだろう。この際いったん棚上げするのが筋だろう。・国民に北朝鮮ミサイルで国難を煽りアメリカからの数千億円もの武器購入、かわりに国民の社会保障費をバサバサ削る安倍内閣は早期退陣を。(K)

- ・ 退陣の願いを込めて初詣